

製造業における取扱説明書のWeb化率の調査結果2025

以下は、製造業における取扱説明書のWEB化率に関する調査結果の総括です。

【調査概要】

対象：製造業200社
調査項目：取扱説明書のWeb掲載状況

【調査結果の内訳】

Web化手法	社 数	割 合
HTML・CMSによる掲載	11社	5.5%
電子ブック形式での掲載	1社	0.5%
PDF形式での掲載	52社	26.0%
Web未掲載(非公開)	136社	68.0%
合 計	200社	100%

【総 括】

1. Web上で何らかの形で取扱説明書を公開している企業は全体の32.0% (64社)にとどまり、依然として多数派 (68.0%、136社) が未掲載である実態が明らかになりました。
2. 最も多いWeb化の形態はPDF (26.0%) であり、比較的導入ハードルが低い形式が中心となっています。
3. HTMLやCMSなど、検索性・アクセシビリティに優れた形式での公開はわずか5.5%にとどまり、デジタル対応の進展には課題が残されています。
4. 電子ブック形式は1社 (0.5%) のみと、導入例はごく少数に限られています。

【考 察】

製造業においては、取扱説明書のWeb化が一定程度進んではいるものの、依然として約7割の企業が情報をWeb上に公開していない状況にあります。

とくに、HTML/CMSなどの構造化された形式での公開が限定的であることから、ユーザビリティや検索性の観点でも改善の余地が大きいといえます。

今後は、ペーパーレスやカーボンニュートラル推進、カスタマーサポートの効率化といった観点から、より高機能なWeb化 (HTML/CMS化) への移行が求められることが予想されます。